



Since 2003

アドプト現場に **ADOPT REPORT** おじゃました！

株式会社 福井組



(株)福井組(福井孝典代表取締役)は鳴門市大麻町の旧吉野川沿いにあります。アドプトの担当区間は、会社のすぐそばにある福泉寺排水樋門から市場橋までの800m。福井組の皆さんにとっては庭のような場所です。「自分の家を掃除するのは当たり前。地域を自分達できれいにすると、気持ちよく仕事ができる」と、アドプト・プログラム吉野川はもちろん、ロードアドプトや遍路道の清掃など、年に5~6回は清掃活動を行なっています。7月2日も早朝から約25人が集まり、清掃に汗を流しました。斜面や足場の悪い所でもフットワーク軽く、手際よくゴミを集めることに、さすが建設会社！と感心。普段から地域の交通安全設備や防災設備のパトロールを行なっているので、どこにゴミがあるのかもよく把握しています。

「さあ、頑張るぞ！」—清掃前のかけ声も元気よく



吉野川を私たちの手でもっときれいに!
清掃活動中の現場に取材にうかがいます。
活動日が決まったら、まずは事務局にお知らせください。

さて、ふと見ると看板にかわいいイラストが。
ベートーベンの「第九」

アジア初演の地にちなんだ「べんちゃん」は、

福井組のイメージキャラクター。工事車両や看

板に描かれ、地域の子

ども達に親しまれています。玄関には「駄菓子コーナー」もあり、「子どもやお年寄りが寄ってくれるんですよ」とスタッフがっこり。駄菓子は日持ちのするものが中心で、災害時の備蓄食糧も兼ねているのだとか。さまざまな取り組みから「地域に開

かれ、貢献できる会社でありたい」と

いう思いが伝わってきます。



旧吉野川のほとりでゴミ拾い

ども達に親しまれています。玄関には「駄菓子コーナー」もあり、「子どもやお年寄りが寄ってくれるんですよ」とスタッフがっこり。駄菓子は日持ちのするものが中心で、災害時の備蓄食糧も兼ねているのだとか。さまざまな取り組みから「地域に開

かれ、貢献できる会社でありたい」と

いう思いが伝わってきます。

↓中央にいるのが「べんちゃん」です

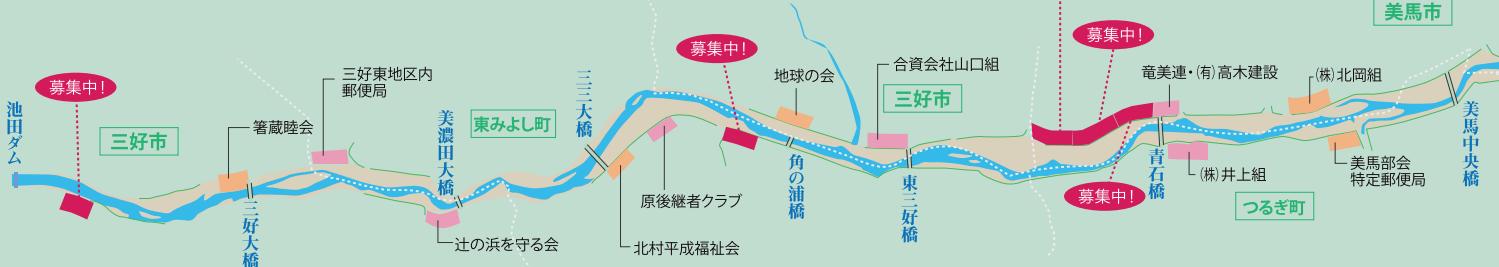


↑玄関を入るとすぐに駄菓子コーナーが



四国三郎・吉野川はかけがえのない私たちの家族 参加しよう!アドプト・プログラム吉野川

徳島の宝物“吉野川”を私たち自身の手で守ろうというボランティア活動で、美しい吉野川をより美しく——さあ、いっしょに始めませんか！



①アドプトとは“養子縁組”的こと

吉野川の土手や河川敷を子どもに見立て、その一定区間と企業や住民グループが養子縁組(Adopt)します。吉野川を自分の子どものようにかわいがってくださいね。

②清掃美化ボランティアを行います

担当する区間の清掃・美化活動を定期的に行います。
活動を続けることで、どんどん吉野川への愛着が深まります。

③看板が立ちます

吉野川の土手や河川敷に、団体の名前を記した看板が立ちます。ちょっと誇らしい気持ちになります。

④こんな効果があります

ゴミが少なくなり、吉野川が美しく、清潔に保たれます。
それと同時に、参加した人の心まできれいになります。
汗を流してゴミを拾ったら、ゴミを捨てられなくなります。
また、この活動を目にする多くの人の環境への意識を高め、
川を大切にする人の輪がますます広がることが期待できます。



上のエリアは団体募集中です。
それ以外も縁組可能なエリアはありますので
どうぞお気軽にお問合せください！
吉野川交流推進会議 ☎088-621-2743

